令和6年度

活動資料

2024_Ver.1

徳島県立牟岐少年自然の家

はじめに

徳島県立牟岐少年自然の家では、教育課程（徳島県内の小学校及び中学校）が宿泊学習等で利用することを最優先としています。
活動についても教育課程の利用を前提として構成していますが、
一般利用の際にも実施可能です。

本資料では牟岐少年自然の家ならではの活動プログラムを紹介しています。
別冊子「令和6年度 利用のてびき」と併せ、入所計画の作成資料として活用してください。

～ もくじ ～

（1）野外活動 ---------- 1
（2）海の活動 ---------- 2
●島めぐり ---------- 4
（3）スポーツ活動 ---------- 5
（4）クラフト活動 ---------- 6
（5）夜の活動 ---------- 7
（6）野外炊飯 ---------- 8
（7）その他の活動 ---------- 9
◆ 貸出可能な備品一覧 ---------- 9
◆ プログラム立案例 ---------- 10
◆ 夜の活動について ---------- 11

感染症予防対策については、教育課程用は徳島県教育委員会「新型コロナウイルス感染症に対応した学校運営に関する留意点（令和5年5月8日改訂版）」に則して進めています。

（1）野外活動

1.グリーンアドベンチャー

場所　　：牟岐少年自然の家本館北側の専用コース

定員　　：150名程度

班編成　：6～10名程度、20班以内

所要時間：90分～120分

準備物　：長袖、長ズボン、帽子、軍手

（季節を問わず必ず着用してください。）

山歩きが満喫できるオリエンテーリング。コース上の各ポイントに設置された問題を解きながら野山の冒険を進めていきます。仲間を思いやり、助け合いながらやり遂げる協同の大切さを実感できる活動です。

2.所内スコアオリエンテーリング

場所　　：牟岐少年自然の家敷地内（屋外）

定員　　：150名程度

班編成　：6～10名程度、20班以内

所要時間：60分～120分

オリエンテーリングマップを手がかりに、当施設敷地内50か所に設置されたポイントをまわります。各ポイントで手に入れた暗号から、最後にクリアすべき課題を導き出す、ゲーム感覚で楽しめるオリエンテーリングです。

3.磯ハイキング

場所　　：小島の浜、古牟岐漁港、砂美の浜等

定員　　：150名程度

班編成　：6～10名程度、20班以内

所要時間：120分～150分

★干潮時刻のみ実施可能

（潮位等で磯が通れない場合は迂回コースとなります。）

地図を頼りに、チェックポイントの課題を仲間と協力し、解きながら進めていくハイキング。太平洋の雄大な景色が臨める浜辺や磯の海岸コースをまわります。

～施設紹介～

スポーツ広場

サッカーやフットサル等、球技に最適の芝生広場。

プレイホール

多目的に利用可能な体育館。

プール

夏季限定。シュノーケリング活動やフィン活動でも使用。

海の学習棟

様々な講座や研修に使用。

（2）海の活動

4.釣り活動

場所　　：古牟岐漁港

定員　　：150名程度

班編成　：5～8名程度、24班以内

所要時間：90分～120分

費用　　：釣りエサ代　400円／1個

（1個＝1～20名程度で使用）

自然の家のすぐ近く、古牟岐港での波止釣り体験。子どもたちでも簡単に扱える竿や仕掛けを用意しています。初心者でも気軽に釣りの楽しさを実感しながら、海の環境問題についても考えられる活動となっています。※釣った魚の持ち帰りはできません。

5.磯の生物観察

場所　　：小島の浜

定員　　：150名程度

（潮の状況により変更する場合があります。）

班編成　：5～8名程度、20班以内

所要時間：60分～120分

★干潮時刻のみ実施可能

磯に生息しているカニやエビ、イソギンチャク等の様々な生き物。直接触れる事でその生態や生活環境への興味や関心を高め、海と人との関りや自然保護の大切さへと学びを広げていく内容となっています。

6.砂の造形

場所　　：小島の浜

定員　　：100名程度

班編成　：10名程度

所要時間：120分～150分

海岸の砂を使い、自由な発想で取り組む造形。海に親しむだけでなく、表現活動の楽しさや協力することの大切さを学ぶことができます。

～施設紹介～

オリエンテーション室

入所時のオリエンテーションや室内スポーツで利用。

第1研修室

講習等に活用される多目的研修室。

第2研修室

畳敷きの多目的研修室。

ゆうなぎ

引退した徳島県の海洋調査船「ゆうなぎ」を展示。

7.フィン活動　★夏季限定

場所　　：プール、松ヶ磯、大島等

対象年齢：小学5年生以上

定員　　：70名程度

（用具持参の場合等、詳細はお問い合わせください）

所要時間：90分～120分

フィンの正しい使い方をプールにて受講。その後、海中の生物を観察して海に親しみます。島めぐり・大島コースとの組み合わせも可能な活動です。

8.シュノーケリング　★夏季限定

場所　　：プール、松ヶ磯、大島等

対象年齢：小学3年生以上

定員　　：100名程度

（用具持参の場合等、詳細はお問い合わせください）

所要時間：90分～120分

シュノーケルの安全な使い方をプールにて受講。その後、海中の生物を観察して海に親しみます。島めぐり・大島コースとの組み合わせが人気の活動です。

活動の準備物 一覧

・釣り活動：雨合羽（少雨の場合）
・磯の生物観察：マリンシューズ、軍手
・シュノーケリング：水着、マリンシューズ、ラッシュガード
・島めぐり（大島半日・一日コース）：水着、マリンシューズ、ラッシュガード、ゴーグル
・グリーンアドベンチャー：長袖、長ズボン、帽子、軍手
・海藻のしおり：筆記用具、色鉛筆
・焼き板工作：筆記用具、軍手
・プラスチックペンダント：油性ペン（カラー）
・キャンプファイヤー：古タオル（トーチの詰替え用）
・かがり火キャンプファイヤー：古タオル（トーチの詰替え用）

※マリンシューズ：使い古した靴でも代替可能。樹脂サンダル等は不可。
※ラッシュガード：Tシャツ等でも可。

●島めぐり

徳島県観光磯釣渡船協同組合の協力により、牟岐町の美しい島々を巡ります。

＜渡船料＞　・4歳～小学生 ：1人　1,200円　　・中学生以上　：1人　1,500円

※天候（警報・注意報）等により欠航や、コース変更で活動時間が短縮される場合があります。
（台風等による荒天が予測される場合、前日までに欠航を決定することもあります。）
※乗船中は必ずマスクを着用してください。
※20人未満の場合はチャーター（1艇 20,000円）となる場合があります。

9.出羽島コース

場所　　：古牟岐港発着

定員　　：150名程度

（中学生以上のみの場合は100名程度）

所要時間：180分

自然の家から南の沖合約4km離れた出羽島。レトロな街並みと、天然記念物「シラタマモ」が生息する亜熱帯植物の森。見どころ満載の島内を散策します。

10.大島・出羽島コース

場所　　：古牟岐港発着

定員　　：150名程度

（中学生以上のみの場合は100名程度）

所要時間：180分

無人島・牟岐大島では船上から色鮮やかなウミトサカサンゴを観察。その後、出羽島に上陸し、浜辺で磯の生物観察やビーチコーミングを楽しみます。

11.大島コース　★夏季限定

場所　　：古牟岐港発着

定員　　：150名程度

（中学生以上のみの場合は100名程度）

所要時間：半日コース　180分、１日コース　240分

（1日コースの場合、昼食は現地・大島で弁当となります。）

自然の家から南の沖合約6km離れた無人島・牟岐大島に渡船で渡ります。魚影が濃く、磯釣りのメッカとしても知られる大島で海中ウォッチングや海水浴を楽しみ、普段とは違った自然の美しさと雄大さを体感できます。

（3）スポーツ活動

12.グラウンドゴルフ

場所　　：スポーツ広場（屋外）、
　　またはプレイホール（屋内）
定員　　：屋外 50名程度　　屋内 50名程度
班編成　：8名程度、8班以内
所要時間：40分～120分

ゴルフをアレンジしたニュースポーツの中のひとつです。全8ホールのコースをまわり、スコア（打数）を競い合います。屋外でも室内でもできる活動となります。

13.フライングディスクゴルフ

場所　　：牟岐少年自然の家敷地内（屋外）
定員　　：100名程度
班編成　：5～8名程度
所要時間：90分～120分

ゴルフをアレンジしたニュースポーツの中のひとつです。施設内に設置されたコース上、決められたルールの中でフライングディスクを投げてスコア（打数）を競い合います。

14.ペタンク

※室内での活動となります。
場所　　：プレイホールまたはオリエンテーション室
定員　　：プレイホール　60名程度
　　オリエンテーション室　30名程度
班編成　：10名程度
所要時間：40分～90分

「いつでも・どこでも・誰とでも」手軽に楽しめるニュースポーツのひとつです。チーム対抗で赤と青のボールを投げ合い、得点を競い合います。
※雨の日のクラフト活動等と組み合わせることも可能です。

15.モルック

場所　　：オリエンテーション室、屋外も可
定員　　：30名程度
班編成　：10名程度
所要時間：40分～90分

フィンランド発祥のスポーツでモルック（投げる棒）とスキットル（倒すピン）を使った誰でも手軽に楽しめるスポーツです。屋外でも室内でもできる活動となります。
※雨の日のクラフト活動等と組み合わせることも可能です。

（4）クラフト活動

16.流木クラフト

場所　　：キャンプ場、野外炊飯場、プレイホール等

定員　　：晴天時の定員はお問い合わせください

　　雨天時　野外炊飯場 30名程度 、プレイホール 60名程度

所要時間：40～60分　　費用：材料費　1回　150円

制作の手順や道具の正しい使い方から、安全に能率的に作業する態度を身につけることができます。一つ一つの形や木目の美しさや創作の楽しさを感じることができます。

17.海藻のしおり

場所　　：海の学習室等

定員　　：40名程度

所要時間：40～60分

費用　　：材料費　1回　150円　　準備物：筆記具、及び色鉛筆

徳島県南部地域の特産品でもある海藻・天草（テングサ＝寒天の原材料）を使い、イラスト等を書き込んでオリジナルのしおりを作ります。入所の記念品としても最適です。

18.焼き板工作

場所　　：キャンプ場、プレイホール等

定員　　：晴天時　100名程度（詳細はお問い合わせください）

　　雨天時　プレイホール 100名程度

所要時間：100～170分　　費用：材料費　1回　200円

制作の手順や道具の正しい使い方から、安全に能率的に作業する態度を身につけることができます。木のぬくもりや木目の美しさ、そして工作の面白さを実感できると人気の活動です。

19.プラスチックペンダント

定員　　：30名程度

所要時間：40～60分

費用　　：材料費　1回　100円

準備物　：油性ペン（カラー）

透明のプラスチック板に油性ペンでイラストを描いたらオーブントースターで加熱。熱による収縮を楽しみながら、オリジナルのペンダントを作ります。

20.フォトフレーム　★要予約

定員　　：30名程度

所要時間：60分

費用　　：材料費　1回　400円

ビーチコーミング等で集めた素材、貝殻やシーグラスと焼き板を使ったフォトフレーム作り。世界にひとつだけのマイフォトフレームには、ぜひ自然の家の思い出を飾ってみてください。

（5）夜の活動

※夜間の活動は各団体の進行で実施してください。

21.天体観測

場所　　：つどいの広場等

定員　　：50名程度

所要時間：30～60分

豊かな自然に囲まれた牟岐少年自然の家。美しく澄み切った空気と、街の灯りの影響がない絶好の環境で、ゆったりと夜空を観測を楽しみます。

※天体望遠鏡を貸出しています。

22.キャンドルの集い

場所　　：プレイホール

全員でしょく台を囲み、厳粛さと楽しさの織り成す感動的な交歓を通して、集団宿泊生活の思い出をより印象深いものに。仲間との友情を深め、連帯意識を高めることができます。

※火の巫女、火の神の衣装を貸出しています。

※進行例は11ページ参照。

23.かがり火キャンプファイヤー

場所　　：かがり火キャンプファイヤー場

準備物　：トーチ詰め替え用の古タオル、軍手

費用　　：1回　1,000円　※実施状況により、

追加の薪代が必要な場合もあります。

野外でかがり火を囲み、厳粛さと楽しさの中で生まれる感動的な交歓を通して集団宿泊生活の思い出をより印象深いものに。仲間との友情を深め、連帯意識を高めることができます。

※トーチ詰め替え用の古タオルをご準備ください。

※進行例は11ページ参照。

24.キャンプファイヤー

場所　　：キャンプファイヤー場

準備物　：トーチ詰め替え用の古タオル、軍手

費用　　：1回　3,500円※実施状況により、

追加の薪代が必要な場合もあります。

野外で営火を囲み、豪快な炎が織り成す感動的な交歓を通して集団宿泊生活の思い出をより印象深いものに。仲間との友情を深め、連帯意識を高めることができます。

※トーチ詰め替え用の古タオルをご準備ください。

※進行例は11ページ参照。

（6）野外炊飯

★20名以上で実施可能
★3週間前まで（7月、8月は1ヶ月前まで）に要予約（喫食届での申込が必要）

＜場所＞　野外炊飯場、キャンプ場

＜活動時間＞　昼食　または　夕食（最終19時00分まで）

※申込方法、メニュー、料金等詳細については「利用のてびき」の「野外炊飯について」の項目を参照してください。

野外で仲間と協力して食事を作りみんなで楽しく味わうことにより連帯意識を高めることができます。また調理の過程や与えられた役割を果たすことの大切さも体感することができます。

25.野外カレー炊飯

費用　　：昼　1人　770円、夜　1人　850円
（薪代金含む）
班編成　：8～10名程度

野外炊飯の定番、カレーライス。今も昔も変わらない、大人気のメニューです。

26.バーベキュー

費用　　：牛肉　1人　2,200円、牛・豚肉　1人　1,800円
海鮮　要相談
（網、薪、炭代金含む）
班編成　：8～10名程度

こちらも定番、バーベキュー。上記以外のバーベキューメニューは要相談となります。

27.ピザ＆シチュー　★11月～3月限定

費用　　：1人　850円
（薪、炭代金含む）
班編成　：8～10名程度

窯で焼く本格的なピザ作り。シチューとセットになった季節限定の人気メニュー。

28.その他のメニュー

＜焼きそば＆豚汁＞
費用　　：1人　850円
（薪、炭代金含む）
班編成　：8～10名程度

通年可能な人気メニュー焼きそば＆豚汁。また、野外炊飯の基本、飯ごう炊さんももちろん実施可能。

（7）その他の活動

牟岐少年自然の家の施設・設備を利用したその他の活動の一例です。
詳細はお問い合わせください。

＜プレイホール活動＞

・バスケットボール（1面）
・ミニバスケットボール（1面）
・バレーボール（2面）
・バトミントン（2面）
・ドッジボール（2面）
・卓球（4台）
・フットサル

＜スポーツ広場活動＞

・サッカー
・フットサル

＜屋外活動＞

・海水浴
・水泳
・ネイチャーゲーム
・ナイトハイク
・ウォーキング
・ジョギング

＜屋内活動＞

・ドミノ
・DVD鑑賞
・各種研修会
・各種クラフト活動
・筋力トレーニング
・レクリエーション

◆貸出可能な備品一覧

備品の貸出しについては、事前の申込が必要となります。詳細はお問い合わせください。

＜運動用品＞

品名	数量
バレーボール用ネット・支柱	2面分
バトミントン用ネット・支柱	2面分
バスケットボール用ゴール	1面分
ミニバスケットボール用ゴール（移動用）	1面分
卓球台一式	4台
フットサル用ゴール	2台
ラグビーポール	6本
綱引き用ロープ	2本
大縄跳び用ロープ	16本
ソフトバレーボール	3個
バスケットボール	5個
ドッジボール	3個
ドッジビー用ディスク	2個

＜音響用品＞

品名	数量
ワイヤレスマイク	5本
アンプ	2台
CD／MDプレイヤー	1台
ビデオ／DVDプレイヤー	1台
プロジェクター	1台
スクリーン（第1研修室）	1台
スクリーン（海の学習室）	1台
スクリーン（移動式）	1台

＜娯楽品＞

・ドミノ　・オセロ　・将棋　・囲碁　・縄跳び　・フラフープ　等

＜その他＞

・牟岐少年自然の家所歌CD
・ラジオ体操CD
・キャンドルのつどいCD
・ペンライト
・懐中電灯
・火の巫女衣装
・火の神衣装
・ピアノ
・ギター
・キーボード
・電子オルガン
・和太鼓
・延長コード
・拡声器
・筆談ボード
・おねしょシート
・電気ポット
・コンパス
・椅子、机
・カラーコーン
・冷凍冷蔵庫　※①

※①　2階 共用給湯室に入所者用の共用冷凍冷蔵庫を設置しています。

プログラム立案例

●生活時間について

牟岐少年自然の家では下記の生活時間が決まっています。
こちらを優先したうえで、余裕のあるスケジューリングを心がけるようお願いします。

・食事	**：朝食 7時10分、昼食　12時、夕食17時30分**
・入浴	**：大浴場　17時30分～21時50分**
・ランドリー室	**：22時まで** ※①
・消灯	**：22時**
・施錠	**：22時**

※①　22時以降は施錠します。洗濯洗剤は各自持参となります。

＜1泊2日の活動プログラム立案例＞

		晴天	雨天　※1
入所の日	12:00	昼食	
	14：00 ～16：00	グリーンアドベンチャー	焼き板工作
	17:30	夕食 入浴	
	19:00	キャンプファイヤー	キャンドルの集い
退所の日	7:10	朝食	
	9：00 ～11：00	島めぐり　※2	海藻のしおり ペタンク グランドゴルフ　※3
	12:00	昼食	

※1　晴天時だけでなく、必ず雨天時のプログラム立案もお願いします。
※2　島めぐりを行う場合は、8時45分～活動説明開始、9時乗船となります。
※3　所要時間が短い活動や活動定員を超える場合は、いくつかの活動を組み合わせて実施することも可能です。

活動をはじめ、入所時のスケジュールについては事前申請（『事前相談票』の提出）が必須です。詳細は「令和6年度 利用のてびき」を確認してください。

夜の活動について　～キャンドルの集い・かがり火キャンプファイヤー・キャンプファイヤー～

●当施設で準備できる用具

・放送用具：ワイヤレスマイク、アンプ、CD、MDラジカセ、延長コード
・照明用具：投光器、投光器台、ペンライト、懐中電灯
・衣装類　：火の神用衣装（着物・袴・杖・面・草履）1名分
　　火の巫女衣装（袴・白衣・草履）1名分
・点火用具：トーチ、ろうそく、ろうそく台、営火台、しょく台、灯油、薪、巫女用聖火台
　　※トーチの 詰め替え用古タオル・軍手は各自での準備が必要です。

＜役割分担例＞

下記は役割分担の一例です。
各学校の規模などに応じて役割の内容や人数を考慮し、計画してください。
また、火の神・火の巫女の衣装（各1着）は当施設でも貸出し可能ですが、各学校の裁量により他の衣装の持ち込みや衣装着用なしでの進行も可能です。

役割名	分担者	仕事内容
進行責任者	引率者　1名	・進行計画と役割分担計画を作成する。 ・事前準備、プログラム進行、後始末などを指導する。
実技リーダー	引率者数名	・歌唱、ダンス、ゲームなどの事前準備や事前指導をする。 ・第2部で実技をリードする。
会場係	引率者数名 児 童 生 徒 各 班 の 係	・必要な用具の借り出し、返納をする。 ・火の神や巫女の着替えの世話をする。 ・会場の後始末をする。
レク係	児 童 生 徒 各班の係	・班の出し物の計画、練習の中心となる。 ・各班の出演順を相談する。 ・各班の出し物で班員をリードする。（第2部）
司会者	引率者　1名 (児童生徒、数名でもよい)	・司会をする。（第1部～第3部） ・儀式の厳粛さや交歓の楽しさの雰囲気づくりに努める。
火の神 （営火長）	引率者代表　1名	・「火の神のことば」を言う。（第1部） ・分火係に分火し、誓いの言葉を聞く。（第1部） ・営火長として分火係に分火する。（第3部）
火の守	引率者数名	・営火を守る。（第1部～第3部） ・焚き物を追加したり、終了後、火の後始末をする。
火の巫女	児 童 生 徒　1名	・聖火をもって、火の神を先導しながら入場する。（第1部） ・火の神に聖火を渡す。（第1部）
分火係	児 童 生 徒 ４～５名	・火の神から分火をうけて、誓いの言葉を言う。（第1部） ・「点火」の合図で営火台に点火する。（第1部） ・営火長から分火をうけ、班員に分火する。（第3部）
結びのことば係	児童生徒　1名 （数名でもよい）	・「結びのことば」をいう。（第3部）

＜活動展開例＞

活動展開の一例です。各学校の規模や実情に応じて進行プログラムや演出、言葉などを計画してください。

段階	活動内容	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
準備 （約２０分）	1．集合し説明を聞く 2．移動する	・班ごとに集合し、人員を確認する。 ・つどいの手順や心得、トーチやろうそくの取り扱 い方などの注意を聞く。 ・火の神と巫女は所定場所で準備する。 ・入場順に整列し、無言で待機する。	・足下に気をつけて移動する
第1部 迎え火の儀式 （約２５分）	1．入場	・司会者を先頭に無言で入場し、営火台（しょく台） を囲んで円形に並ぶ。 ・かがり火ファイヤーの場合は所定の座席に静かに座る。	・トーチやろうそくは後方に置く ・火の神と巫女は所定の場所で待機
	2．開会	・司会者が「火を迎えることば」を言う。 『昼間、みなさんの活動のようすを見守ってくれていた太陽が遠く西の水平線のかなたに沈み、牟岐少年自然の家にも、ようやく夜のとばりが訪れました。 心静かにまぶたをとじると、みなさんを励ますかのように打ち寄せる波の音が聞こえてきます。 ともに手を組み、心を合わせ、力強い仲間の輪を築くために、ここに集う ○○小（中）学校のみなさん。みなさんの元気な歌声で聖なる火を迎えましょう。』	
	3．迎え火の歌	・全員で「遠き山に日は落ちて」を歌う。 ♪遠き山に日は落ちて　星は空をちりばめぬ　今日のわざをなしおえて　心かろく安らえば風はすずしこの夕べ　いざや楽し　まどいせん♪ ※火の神が所定の位置につくまでハミングで歌う。（赤とんぼ、夕やけ小やけなどでも。）	
	4．火の神入場	・トーチ（聖火）をかかげた火の巫女が、火の神を先導して入場。円陣の内側を回って所定の位置まで行く。 ・火の神が所定の位置についた時、火の巫女はトーチ（聖火）をかかげて火の神を照らす。	・全員無言で厳粛な雰囲気を保つ
	5．火の神の話	・火についての話、キャンプの意義についての話をする。 『私は大島に住む火の神である。今日、○○小（中）学校のみんなが集まると聞いて、この聖なる火を持って大島からやってきた。 火は遠い昔から人間に生きる喜びや勇気を与えてくれた。火は自らを焼き尽くしながら光と熱を私たちに与えてくれる。火は、私たちの生命とも言えるものである。 数千年の昔から私たちの祖先は、火を守りながら、ある時は 物をつくることを発見し、また明るく照らすことを考えてきた。 私たちも祖先の偉業を受け継ぎ、この闇夜を照らす炎のように世の中の明るさと希望をもたらしていきたい。』	
	6．分　火	・司会者の合図で分火係は火の神の前に出て一列に並ぶ。 ・「分火」の合図で、火の神は火の巫女から、トーチ（聖火）を受け取り、分火係に一人ずつ分火する。	・全員無言で厳粛な雰囲気を保つ ・点火用トーチを持っていく
	7．誓いのことば	・分火後、分火係は一人ずつトーチをかかげ、誓いのことばを言う。 『ぼくは、この宿泊体験活動で奉仕する心の大切さを学びました。』 『私は、これからの生活の中で友達と仲良くしていきます。』 『ぼくは、みんなで力を合わせて生活していこうと思います。』　　など。 ※誓いの言葉は、分火してもらった直後に一人ずつ言ってもよい。 ※かがり火キャンプファイヤーの場合は４～７を省略し、営火長による点火のみの進行も可。	
	8．点　火	・最後の分火係が誓いのことばを言った後、各分火係は営火台（しょく台）を四方から囲んで、トーチ（ろうそく）をかかげて立つ。 ・「点火」の合図で、分火係は四方から一斉に点火する。	・営火台（しょく台）のろうそくは上から順に点火する
	9．炎　の　歌	・全員で「燃えろよ燃えろ」を歌う。 ♪１．燃えろよ燃えろよ　炎よ燃えろ　火の粉をまき上げ天までこがせ ２．照らせよ照らせよ　真昼のごとく　炎ようず巻き闇夜を照らせ ３．燃えろよ照らせよ　明るく熱く　光と熱とのもとなる炎♪	
	１０．火の神退場	・司会者の合図で、火の神は火の巫女とともに、円陣の内側を回って退場する。 ・火の神が退場する時は斉唱で送り出す。引き続き２～３曲を斉唱し、第1部のしめくくりとする。	・斉唱の有無は各学校の裁量による

食事、入浴、消灯などの生活時間を優先となります。それらを前提に、夜の活動の計画を立ててください。

段階	活動内容	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
第2部 交歓のつどい	1.司会者のことば	・第2部（交歓のつどい）の始まりを告げる。 『点火された火が、みなさんの友情の火、団結の火として燃え続けることを願いながら、火の神は去って行きました。 この火の大きさに負けないように、これからの時間はみなさんの力強い出し物で、友情の輪をもっともっと広げていきましょう。 待ちに待った交歓のつどいのはじまりです。』	・照明をつける
	2.各班の出し物	・司会者、演技者、火の守以外は座る。 ・各班で計画した出し物や実技リーダーのゲームなどを混ぜながら、交歓のつどいを進める。 ・交歓のつどいでの約束を守って、雰囲気が盛り上がるように指導する。	・実技リーダーによる全員演技を取り入れる ・前もって各班の出演順を決めておくと能率的に進められる
第3部 送り火の儀式 （15分）	1.司会者のことば	・全員トーチ（ろうそく）を持って起立し円陣を　整えた後で照明を消す。 ・送り火の儀式に入る言葉を言う。 『楽しかった今日の活動のすべてが終わろうとしています。夜もすっかり更けてきました。 静かに目を閉じて、一日の活動を振り返ってみましょう。ゆっくり目を開けてください。 楽しいつどいの間、私たちを見守ってくれた炎は、今静かに消えようとしています。 このつどいを閉じるにあたり、無事に一日を終えられたことを互いに喜ぶとともに、 感動を与えてくれたすべてのものに感謝の心を持ちたいものです。では、送り火の儀式に移ります。』	
	2.分火	・司会者の合図で営火長は営火台（しょく台）の前へ移動する。 ・「分火」の合図で、分火係は営火台の前に整列し分火してもらう。 ・分火係はもとの列に帰り、左右の者に分火する。 ・分火を受けた者は、横の者に次々と分火し、火の輪をつくる。	・無言で行動する ・正しい方法で分火できるようにする
	3.別れの歌	・全員で「ひと日の終わり」を歌う。 ♪１．星影さやかに　静かにふけぬ　つどいの喜び　歌うは楽し ２．なごりはつきねど　まどいは果てぬ　今日のひと日のさち　静かに思う♪ （「今日の日はさようなら」「見上げてごらん夜の星を」などでも。）	
	4.結びのことば	・児童生徒代表は、営火台の前に立ち、トーチ（ろうそく）をかかげて結びのことばを言う。 『みんなが力を合わせ、楽しく過ごしてきた牟岐少年自然の家での生活も、明日でいよいよお別れです。 目の前の火は私たちの心に明るい希望と力強い仲間の存在を焼きつけてくれました。 私たちは、楽しい思い出とともに、この光の輪、友情の輪を心にきざみ、いつまでも仲良く、励まし合って、これからの学校生活を送っていきたいと思います。 これで、○○○○を終わります。』	・ペンライトを用意
	5.別れの歌	・全員で「今日の日はさよなら」を歌う。 ♪いつまでも　絶えることなく　友だちでいよう　明日の日を夢見て　希望の道を　♪ ※続きをハミングで歌う。 ※「ひと日の終わり（星影さやかに）」「螢の光」などの歌を歌ってもよい。 ※かがり火キャンプファイヤーの場合は、２～３を省略して、歌を歌って退場に移る進行方法もある。	
	6.退　場	・ハミングとともに退場して行く。 ・出口でトーチ（ろうそく）の火を消し、所定の場所に整理整頓する。	・ろうそくの火は吹き消さない
片付け （20分）	1.集合し、説明を聞く 2.後始末をする 3.活動終了の報告をする	・後始末についての説明を聞く。 ・借用した用具は、数などを確認してもとの場所に返納する。 ・営火台（しょく台）の火は、十分に消火を確認する。 ・ろうそくはしょく台からはずし、空き缶に入れる。 ・トーチは翌朝まで、指示された場所に置いておく。 ・全て活動が終了した時点で事務室の所員に連絡する。	（指示すること） ・翌朝の清掃時に床のろう落としをする ・キャンプファイヤーとかがり火キャンプファイヤーのときは翌朝の清掃時に火床の始末をする

よくあるご質問

詳細、その他については
電話又はメールにてお気軽にお問い合わせください。

Q.「夏季限定」とは具体的にいつ頃ですか？

水着を着て海に入る活動及びプールを使用する活動を「夏季限定」としています。
これらでは活動後にプール、またはプールのシャワー（冷水のみ）で海水を流し、プール脱衣所で着替えを行います。
当施設のプール稼働期間は例年5月中旬～9月末頃となり、同期間を「夏季」としています。
しかし外気温、海水温、プール水温から5月～6月中旬及び9月中旬以降はおすすめしていません。一般的な海水浴場やプールの営業期間等を参考に、計画を立ててください。

Q.「干潮時」とはいつ頃ですか？

干潮及び満潮時刻は日によって異なります。入所予定日のそれらが何時頃になるのかは、下記、気象庁ホームページの潮位表等で知ることができます。（自然の家がある牟岐町古牟岐港付近については、近隣の美波町日和佐港を参考にしてください。）
なお、「干潮時」とある活動は、干潮時間の前後1～2時間（計4時間内）が午前又は午後の活動時間と重なる場合に実施が可能と考え、入所計画を立ててください。

◆ 気象庁 潮位表：https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/index.php

Q.季節によって適した活動はありますか？

7月、8月はプール活動、シュノーケリング活動、フィン活動、海水浴といった直接水に入る活動をおすすめしています。
釣り活動やグリーンアドベンチャー等といった野外活動は、熱中症の危険性があるため夏場は避けるよう指導しています。

Q.野外活動が中止になるのはどのような時ですか？

基本的に雨天時は野外での活動を行いません（但し、野外炊飯を除く）。
雨天に限らず、雷や波浪等の注意報発令により中止となる場合があります。

Q.島めぐりには水着の着用が必要ですか？

水着着用が必須になるのは「大島コース（夏季限定）」のみです。
他2つのコースでは海水浴等、海に入って行うプログラムは組み込まれていません。

Q.島めぐりの乗船時、水筒は携帯可能ですか？

熱中症対策として水分補給用の飲料（水筒等）の携帯推奨しています。
安全上、両手がふさがることのないよう注意してください。

Q.濡れた水着やマリンシューズを干す場所はありますか？

玄関前に濡れた履き物用のシューズラックを設置してあります。
また、宿泊室のベランダには洗濯ロープを設置しています。

Q.食材を持ち込んでBBQをしたいのですが。

調理が必要な食材の持ち込みは禁止しています。

Q.入所期間中に所外での活動を行うことは可能ですか？

可能です。但し、食堂利用や入浴、消灯・施錠等の基本的な生活時間の変更は承っていません。
自然の家の生活時間を軸とし、入所計画を立ててください。